

学校名：安芸太田町立戸河内小学校

授業者：       〇〇〇 〇〇 教諭      

教材作成者：       〇〇〇 〇〇 教諭      

|            |                |               |     |
|------------|----------------|---------------|-----|
| 授業日時       | 令和3年2月3日       | 教科・科目         | 算数  |
| 学年・年次      | 第2学年           | 児童生徒数         | 5名  |
| 単元名        | グラフとひょう        | 本時／この内容を扱う全時数 | 2／4 |
| 教科書及び教科書会社 | 新しい算数2 上（東京書籍） |               |     |

|  |
|--|
| <p>授業のねらい（本時の授業を通じて児童生徒に何を身につけてほしいか、この後どんな学習につなげるために行うか）</p> <p>本単元では、データを整理する観点に着目し、身の回りの事象についてグラフや表を用いて考える力や考えようとする態度などを育てることをねらいとしている。</p> <p>コロナ禍の下、全校で遊べる状況には中々ならないが、もし全校で遊ぶとしたらどんな遊びがよいかを考え、児童会総務委員会に提案していくという内容で必然性をもたせたい。この単元はすでに4月当初に学習してはいるが、提案していくためにどのようなアンケートを取り、その結果をどのような観点で分類整理すれば、相手に分かりやすく伝えることができるかをかんがえさせ、学習内容のより一層の定着を図りたい。</p> |
| <p>メインの課題（授業の柱となる、ジグソー活動で取り組む課題）</p> <p>（戸河内小学校のみんなが好きな遊びを調べて、全校でできる遊びを児童会に提案しよう。）</p> <p>アンケートの結果を正しく分かりやすく表やグラフに表そう。</p>   |
| <p>児童生徒の既有知識・学習の予想（対象とする児童生徒が、授業前の段階で上記の課題に対してどの程度の答えを出すことができそうか。また、どの点で困難がありそうか。）</p> <p>すきな遊び調べをするためのアンケート項目をどうするか。</p> <p>その項目が分類整理する時の観点になることに気付くことができるか。</p> <p>回答数の合計と分類整理した数が一致しているかを確認されるか。</p> <p>グラフと表のそれぞれのよさを実感できるかどうか。</p>  |
| <p>期待する解答の要素（本時の最後に児童生徒が上記の課題に答えるときに、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準）</p> <p>最初の資料のままではわかりにくい。</p> <p>数を数えたらわかる。</p> <p>各項目の合計が、アンケートの総数と同じになっている。</p> <p>ごちゃごちゃの資料でも表やグラフに表すとよく分かる。</p> <p>表は数がよく分かる。</p> <p>グラフは多い少ないがよく分かる。</p> <p>表やグラフは伝えたいことを相手に正しく分かりやすく伝えることができる。</p>  |
| <p>各エキスパート＜対象の児童生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパートで抑えたいポイント、そのために扱う内容・活動を書いてください＞</p>   |
| <p>エキスパートA 資料をグラフにまとめる方法</p> <p>エキスパートイ 資料を表にまとめる方法</p>  |
| <p>ジグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容</p>   |

資料「好きな遊び」を整理し、グラフに表し、分かることを読み取る。  
 全校での遊びを分かりやすく提案するための方法を考える。

本時の学習と前後のつながり

| 時間   | 取り扱う内容・学習活動  | 到達して欲しい目安   |
|------|--|---|
| これまで | 物の数を○や数で表し、表や簡単なグラフに表す学習をしている。                     |   |
| 前時   | データを分類整理する目的を明確にし、データを分類する際目的に応じて観点を決めるとよいことを確認する。 | データの観点に着目して表やグラフに表す。                              |
| 本時   | 目的をもって資料を分類整理するよさを味わう。                             | 資料から表やグラフの表し方とそれぞれのよさを確認する。<br>表やグラフから分かることを読み取る。 |
| 次時   | 全校での遊びを提案するために、グラフや表を使って資料を作成する。                   | 相手に正しく分かりやすく伝える方法として、提案資料をまとめる。                   |
| この後  | 表やグラフに表すことのよさを確認し、学習のまとめをする。練習問題を通して、学習内容の定着を図る。   |   |

上記の一連の学習で目指すゴール  
 身の回りにある数量を分類整理し、簡単なグラフや表を用いて表したり読み取ったりする知識や技能を身につけ、データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察する。

前時 「休み時間どこでなにをしているのかな？」(教科書P. 8)を提示して、分類整理する観点を決め、グラフに表す。グラフから表を作成する。  
 グラフや表に表すと、どんなことが分かるか話し合う。  
 ◎何を表したいかを決めて、グラフや表にするとよいことをおさえる。

本時 エキスパートA 資料をグラフに表す方法

エキスパートイ 資料を表に表す方法

ジグソー課題 全校の好きな遊びをまとめて、総務委員会に提案しよう。  
 戸小のみんなが好きな遊びは、何かを調べよう。  
 グラフや表から読み取ること  
 何が一番多いか、少ないか  
 一番多い遊びと二番目に多い遊びとのちがいはいくつか

↓  
 総務委員会に どのようなことを伝えるか  
 分かりやすく伝えるために どうすればよいか。

本時の学習活動のデザイン

| 時間 | 学習活動   | 支援等   |
|----|--|---|
|    | <p>1 本時の学習課題をつかむ。<br/>一覧表からみんなが好きな遊びを調べようとする意欲を持つ。</p> <p>2 どうすれば解決できるか、見通しをもつ。</p> <p>3 エキスパート活動をする。<br/>【エキスパートア】<br/>資料をグラフに表す方法</p> <p>【エキスパートイ】<br/>資料を表に表す方法</p> <p>4 シグソー活動をする。<br/>①それぞれの資料を交流する。<br/>②「全校の好きな遊び」についての資料を自分たちで整理し、グラフや表に表す。<br/>③作成したグラフや表から分かることをまとめる。</p> <p>5 クロストーク<br/>それぞれのグループの意見を交流する。</p> <p>6 総務委員会に提案するための方法を考える。<br/>グラフや表に表す。</p> <p>7 振り返りとして、分かったことを自分の言葉で整理する。</p> | <p>・アンケートの結果をまとめていくことを確認する。</p> <p>・既習内容（○でグラフに表す等）が出ればよしとする。</p> <p>・活動の流れを提示して、見通しをもたせる。</p> <p>・グループで資料を整理させるようなワークシートを準備し、書き込む児童は指名する。（時間短縮のため）<br/>・グラフの枠は準備しておく。</p> <p>・どのような整理の仕方をしたのか、グラフや表から読み取ったことはどんなことかを交流させる。</p> <p>・提案内容に沿って、分かりやすい方法と伝えたいことを考えさせる。</p> |

|   |
|---|
| <p>グループの人数や組み方</p>  |
| <p>エキスパートは、2・3人で2グループ構成<br/>シグソーは、2人×1，3人×1で2グループ構成予定</p> |